

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名 三菱自動車工業株式会社

市場取引所 東大

コード番号 7211 URL <http://www.mitsubishi-motors.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 益子 修

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CSR推進本部長 (氏名) 中村 義和

TEL 03-6852-4206

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,658,133	—	19,932	—	4,713	—	△4,763	—
20年3月期第3四半期	1,947,333	26.1	51,972	715.4	39,252	—	21,665	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△0.86	—
20年3月期第3四半期	3.94	2.38

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,368,373	255,411	17.9	△34.82		
20年3月期	1,609,408	328,132	19.7	△21.81		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 244,789百万円 20年3月期 316,814百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,010,000	△25.1	5,000	△95.4	△20,000	—	△60,000	—	△10.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,537,898,840株 20年3月期 5,537,897,840株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 82,610株 20年3月期 80,373株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,537,816,933株 20年3月期第3四半期 5,499,876,333株

※業績予想の適正な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月30日に公表しました連結業績予想について、本資料において修正しております。

2. 業績予想に記載の各数値は、現状での入手可能な情報に基づいた判断及び予測に基づき算出した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替影響により、実際の業績が現状の見通しの数値と大きく変わる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、9月の米国金融機関の破綻を契機とした金融市場の混乱が、元々減速基調にあった世界経済を未曾有の速さ、広さ、深さで悪化させたことに加え、為替レートも大幅な円高に振れるなど、かつてない厳しい状況へと激変しました。

このような中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期実績を下回りました。

販売台数（小売）は、全世界的に総需要が低迷する中で、当社グループにおいても日本、北米、欧州及びアジア・その他の全ての地域で減少し、全体では848千台（前年同期比168千台、17%減）となりました。

地域別には、日本では、9月に新型車『トッポ』などの軽自動車シリーズ、12月は『ギャラン フォルティス スポーツバック』を投入し販売促進を図りましたが、特に11月以降の大幅な総需要の減少により、122千台（同29千台、19%減）となりました。北米では、カナダで増加したものの、総需要が低迷している米国の減少により97千台（同27千台、22%減）となりました。欧州では、総需要が低迷を続ける西欧市場の減少に加え、堅調であったロシアも第3四半期(10-12月期)は減少に転じ、232千台（同22千台、8%減）となりました。アジア・その他の地域では、ブラジル、インドネシア、フィリピンなどで増加を維持しましたが、プロトン社向け海外生産用部品の供給を終了したマレーシアや総需要が減速または後退したその他の国の減少により397千台（同90千台、19%減）となりました。

売上高は、販売台数減少や円高影響などにより、1兆6,581億円（前年同期比2,892億円、15%減）となりました。

営業利益は、全社をあげて取り組んでいる費用削減活動および昨年度に実施した事業構造改革による固定費削減が好転要因となりましたが、販売台数減少、為替円高影響、原材料高騰影響などにより、前年同期比321億円減少の199億円となりました。経常利益は、営業利益の減少に加え、外国為替の影響や持分法投資利益の減少により、前年同期比346億円減少し、47億円となりました。また、四半期純利益は、法人税等の減少が改善要因となりましたが、経常利益減少の影響により、前年同期比265億円減少し、48億円の赤字となりました。

※「前年同期比増減額」「増減率」及び「前年同期の金額」は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は1兆3,684億円となり、前年度末の1兆6,094億円から2,410億円減少しました。負債は、1兆1,130億円となり、前年度末の1兆2,813億円から1,683億円減少しました。そのうち有利子負債残高は3,609億円となり、前年度末の3,539億円から70億円増加しました。純資産は2,554億円となり、前年度末の3,281億円から727億円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当通期連結業績は、景気後退に伴う販売台数の大幅減少、円高に伴う為替影響等により、平成20年10月30日公表の予想数値を下回る見込みです。

なお、当期純利益につきましては、上記理由に加え、生産台数減少に伴う生産設備の評価替、および販売台数に見合った機能スリム化と人人体制の見直し費用を織り込んでおります。

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,360,000	50,000	43,000	20,000
今回修正予想(B)	2,010,000	5,000	△20,000	△60,000
増減額(B-A)	△350,000	△45,000	△63,000	△80,000
増減率(%)	△14.8	△90.0	—	—

(ご参考)

前期実績(平成20年3月期)	2,682,103	108,596	85,731	34,710
----------------	-----------	---------	--------	--------

前回発表予想(A)は平成20年10月30日に発表した予想

(ご参考) 平成20年度 販売台数計画 (小売)

(単位: 千台)

	日 本	北 米	欧 州	アジア ・その他	合 計
前 回 計 画 (A)	190	132	348	558	1,228
今 回 計 画 (B)	166	119	275	490	1,050
増 減 (B-A)	△24	△13	△73	△68	△178
増 減 率 (%)	△13%	△10%	△21%	△12%	△14%

前 期 実 績	219	160	341	640	1,360
---------	-----	-----	-----	-----	-------

前回計画 (A) は平成20年10月30日に発表した計画

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高は、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

また、定率法を採用している固定資産の減価償却費は、連結会計年度に係る減価償却費の額を按分して計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. たな卸資産については、当社及び国内連結子会社は、従来、主として先入先出法による原価法または、個別法による原価法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)または個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が1,269百万円減少しております。

3. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、当社及び国内連結子会社は、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これにより、有形固定資産が24,172百万円増加しております。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

また、リース取引に関する会計基準等の適用に併せて、従来、ファイナンス・リース取引の通常の売買処理に係る会計処理に準じて仕掛品に計上していた購入品金型の未償却残高を、第1四半期連結会計期間から有形固定資産に計上しております。これにより、仕掛品が35,102百万円減少し、有形固定資産が同額増加しております。

4. 第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用し、連結上必要な修正を行っております。これにより、期首利益剰余金が13,455百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が1,468百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	平成20年度第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	平成19年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	267,965	355,896
受取手形及び売掛金	94,371	174,076
有価証券	2,571	5,754
商品及び製品	165,065	174,999
仕掛品	31,063	73,058
原材料及び貯蔵品	62,859	51,586
その他	129,304	139,658
貸倒引当金	△8,276	△10,897
流動資産合計	744,924	964,133
固定資産		
有形固定資産	471,637	453,453
無形固定資産	17,115	31,825
投資その他の資産		
投資有価証券	51,642	75,999
その他	94,975	98,548
貸倒引当金	△11,922	△14,551
投資その他の資産合計	134,696	159,996
固定資産合計	623,448	645,274
資産合計	1,368,373	1,609,408
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	307,393	423,729
短期借入金	226,206	272,042
1年内償還予定の社債	30,800	24,260
未払金及び未払費用	123,087	178,508
未払法人税等	4,636	8,115
製品保証引当金	44,320	50,320
その他	75,772	73,936
流動負債合計	812,218	1,030,913
固定負債		
社債	200	25,800
長期借入金	103,676	31,806
退職給付引当金	106,834	103,295
役員退職慰労引当金	929	936
その他	89,102	88,524
固定負債合計	300,743	250,362
負債合計	1,112,962	1,281,275

(単位：百万円)

	平成20年度第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	平成19年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	657,350	657,349
資本剰余金	432,661	432,661
利益剰余金	△720,629	△702,432
自己株式	△14	△14
株主資本合計	369,366	387,564
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,211	10,676
繰延ヘッジ損益	△4,062	3,157
為替換算調整勘定	△118,304	△84,584
評価・換算差額等合計	△124,577	△70,750
少数株主持分	10,622	11,318
純資産合計	255,411	328,132
負債純資産合計	1,368,373	1,609,408

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	平成20年度 第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	1,658,133
売上原価	1,389,415
売上総利益	268,717
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費及び販売促進費	65,368
運賃	39,373
役員報酬及び給料手当	53,281
退職給付引当金繰入額	3,491
減価償却費	10,688
研究開発費	27,787
その他	48,793
販売費及び一般管理費合計	248,785
営業利益	19,932
営業外収益	
受取利息	5,217
その他	2,334
営業外収益合計	7,552
営業外費用	
支払利息	11,315
為替差損	6,275
その他	5,180
営業外費用合計	22,771
経常利益	4,713
特別利益	
固定資産売却益	1,003
貸倒引当金戻入額	1,131
豪州子会社工場閉鎖費用戻入益	1,838
その他	341
特別利益合計	4,315
特別損失	
固定資産除却損	2,371
早期退職金	3,849
その他	985
特別損失合計	7,206
税金等調整前四半期純利益	1,822
法人税、住民税及び事業税	4,629
法人税等調整額	235
法人税等合計	4,865
少数株主利益	1,719
四半期純損失(△)	△4,763

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	平成20年度 第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	444,160
売上原価	383,352
売上総利益	60,807
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費及び販売促進費	11,140
運賃	10,765
役員報酬及び給料手当	17,025
退職給付引当金繰入額	986
減価償却費	3,523
研究開発費	8,182
その他	14,613
販売費及び一般管理費合計	66,236
営業損失(△)	△5,429
営業外収益	
受取利息	1,044
その他	179
営業外収益合計	1,224
営業外費用	
支払利息	3,403
為替差損	6,930
その他	1,601
営業外費用合計	11,936
経常損失(△)	△16,141
特別利益	
固定資産売却益	419
貸倒引当金戻入額	964
その他	378
特別利益合計	1,763
特別損失	
固定資産除却損	1,257
早期退職金	2,697
その他	279
特別損失合計	4,234
税金等調整前四半期純損失(△)	△18,612
法人税、住民税及び事業税	492
法人税等調整額	△1,843
法人税等合計	△1,350
少数株主利益	273
四半期純損失(△)	△17,535

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	平成20年度 第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,822
減価償却費	63,217
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,063
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,066
受取利息及び受取配当金	△5,872
支払利息	11,315
為替差損益 (△は益)	3
持分法による投資損益 (△は益)	△1,057
固定資産除売却損益 (△は益)	1,427
売上債権の増減額 (△は増加)	51,562
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,511
仕入債務の増減額 (△は減少)	△71,693
早期退職金	3,849
その他	△43,747
小計	△13,680
利息及び配当金の受取額	7,990
利息の支払額	△10,967
株式譲渡契約に基づく損失補償の支払額	△10,896
早期退職金の支払額	△6,255
法人税等の支払額	△6,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	△40,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△69,580
有形固定資産の売却による収入	19,841
投資有価証券の取得による支出	△566
長期貸付けによる支出	△626
長期貸付金の回収による収入	365
その他	△18,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△39,162
長期借入れによる収入	115,607
長期借入金の返済による支出	△32,413
社債の償還による支出	△17,350
少数株主への配当金の支払額	△578
その他	△6,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,284
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△103,604
現金及び現金同等物の期首残高	360,902
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	666
現金及び現金同等物の四半期末残高	257,965

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

平成20年度第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	自動車事業	金融事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	441,437	2,722	444,160	—	444,160
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	(15)	—	(15)	15	—
計	441,421	2,722	444,144	15	444,160
営業利益(又は営業損失)	(5,164)	(280)	(5,444)	15	(5,429)

平成20年度第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	自動車事業	金融事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,649,196	8,937	1,658,133	—	1,658,133
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	(91)	—	(91)	91	—
計	1,649,105	8,937	1,658,042	91	1,658,133
営業利益	18,749	1,092	19,841	91	19,932

(注) 1. 事業区分の方法は、産業区分及び市場の類似性に基づいております。

2. 各事業区分の主要製品等

- (1) 自動車・・・・・・乗用車等
- (2) 金融・・・・・・販売金融等

3. 会計処理の方法の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用しております。これにより、従来の方法による場合と比較して、「自動車事業」について、営業利益が1,269百万円減少しております。

(2) 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用しております。これにより、従来の方法による場合と比較して、「自動車事業」について、営業利益が1,468百万円増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕

平成20年度第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
（1）外部顧客に対する売上高	284,040	36,036	67,879	26,688	29,514	444,160	—	444,160
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	118,255	7,688	15,645	48,999	17	190,606	(190,606)	—
計	402,296	43,724	83,525	75,688	29,532	634,766	(190,606)	444,160
営業利益（又は営業損失）	(6,825)	(5,970)	1,671	5,905	(2,938)	(8,157)	2,728	(5,429)

平成20年度第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
（1）外部顧客に対する売上高	996,066	175,900	264,836	79,519	141,810	1,658,133	—	1,658,133
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	375,225	19,261	43,388	173,521	182	611,579	(611,579)	—
計	1,371,292	195,162	308,224	253,041	141,992	2,269,713	(611,579)	1,658,133
営業利益（又は営業損失）	18,757	(14,557)	(2,037)	14,350	(1,637)	14,875	5,056	19,932

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北 米・・・・・・米国

(2) 欧 州・・・・・・オランダ

(3) アジア・・・・・・タイ、フィリピン

(4) その他・・・・・・オーストラリア、ニュージーランド、U. A. E.、プエルトリコ

国または地域の区分は、「地理的近接度及び事業活動の相互関連性」によっておりますが、社内管理との整合性を図るため、前連結会計年度まで「北米」に含めていたプエルトリコを第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この変更により従来と同一の方法に比べ、売上高は「その他」で17,220百万円増加し、「北米」で15,989百万円減少し、また「消去又は全社」で1,230百万円減少しております。営業利益は「その他」で222百万円増加し、「北米」で216百万円減少し、また「消去又は全社」で6百万円減少しております。

3. 会計処理の方法の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用しております。これにより、従来の方法によった場合と比較して、「日本」について、営業利益が1,269百万円減少しております。

(2) 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。これにより、従来の方法によった場合と比較して、「アジア」について、営業利益が1,468百万円増加しております。

〔海外売上高〕

平成20年度第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	44,085	126,872	58,293	116,171	345,422
II 連結売上高					444,160
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	9.9%	28.6%	13.1%	26.2%	77.8%

平成20年度第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	196,471	566,553	178,925	417,427	1,359,378
II 連結売上高					1,658,133
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	11.8%	34.2%	10.8%	25.2%	82.0%

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北 米・・・・・・米国

(2) 欧 州・・・・・・オランダ、イタリア、ドイツ、ロシア、ウクライナ

(3) アジア・・・・・・タイ、マレーシア、台湾

(4) その他・・・・・・オーストラリア、ニュージーランド、プエルトリコ

国または地域の区分は、「地理的近接度及び事業活動の相互関連性」によっておりますが、社内管理との整合性を図るため、前連結会計年度まで「北米」に含めていたプエルトリコを第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この変更により従来と同一の方法に比べ、海外売上高は「その他」で17,220百万円増加し、「北米」で同額減少しております。

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。これにより、期首利益剰余金が13,455百万円減少しております。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額 (百万円)
売上高	1,947,333
売上原価	1,614,036
割賦未実現利益調整前売上総利益	333,297
割賦未実現利益調整額	0
売上総利益	333,297
販売費及び一般管理費	281,325
営業利益	51,972
営業外収益	11,083
(受取利息及び配当金)	(6,869)
(その他の収益)	(4,214)
営業外費用	23,803
(支払利息)	(16,626)
(その他の費用)	(7,177)
経常利益	39,252
特別利益	8,154
特別損失	10,459
税金等調整前四半期純利益	36,948
法人税、住民税及び事業税	13,226
少数株主損益 (△は損)	△2,057
四半期純利益	21,665

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)

(単位: 百万円)

	自動車事業	金融事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,926,301	21,032	1,947,333	—	1,947,333
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	(100)	—	(100)	100	—
計	1,926,200	21,032	1,947,232	100	1,947,333
営業費用	1,885,340	10,021	1,895,361	—	1,895,361
営業利益	40,860	11,010	51,871	100	51,972

(注) 1. 事業区分の方法は、産業区分及び市場の類似性に基づいております。

2. 各事業区分の主要製品等

(1) 自動車・・・・・・乗用車等

(2) 金融・・・・・・販売金融等

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)

(単位: 百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	981,874	282,917	446,982	80,190	155,369	1,947,333	—	1,947,333
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	449,609	14,117	38,714	190,099	268	692,809	(692,809)	—
計	1,431,483	297,034	485,697	270,290	155,638	2,640,143	(692,809)	1,947,333
営業費用	1,392,289	299,763	478,749	254,373	156,727	2,581,902	(686,541)	1,895,361
営業利益 (又は営業損失)	39,194	(2,728)	6,948	15,916	(1,089)	58,240	(6,268)	51,972

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北 米・・・・・・米国、プエルトリコ

(2) 欧 州・・・・・・オランダ

(3) アジア・・・・・・タイ、フィリピン

(4) その他・・・・・・オーストラリア、ニュージーランド、U. A. E.

〔海外売上高〕

前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)

(単位: 百万円)

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	306,746	657,928	172,844	465,531	1,603,050
II 連結売上高					1,947,333
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	15.8%	33.8%	8.9%	23.8%	82.3%

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
- (1) 北 米・・・・・・米国、プエルトリコ
- (2) 欧 州・・・・・・オランダ、イタリア、ドイツ、ロシア
- (3) アジア・・・・・・タイ、マレーシア、台湾
- (4) その他・・・・・・オーストラリア、ニュージーランド
3. 海外売上高は、連結財務諸表提出会社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。